

宇都宮の民俗芸能について

獅子舞

本市の獅子舞は、3人がそれぞれ雄獅子(2匹)と雌獅子(1匹)の獅子頭をかぶり、腹につけた羯鼓(小さな太鼓)を打ちながら踊るものです。なお、4か所とも獅子舞の前座芸として棒と太刀による渡り合いが行われます。

神楽

本市の3つの神楽は、いずれも出雲流神楽の流れをくむ太々神楽です。面をかぶり、華やかな衣装を着て、一人から数人で舞います。舞は神話をもとにしたものが多く、笛と太鼓に合わせて舞います。現在では一日に4~5の舞を奉納しています。

金掘唄

篠井では昔から(時期は不詳)、金の採掘が行われていました。坑道の中では採掘の作業に合わせて唄がうたわれました。この仕事唄が金掘唄です。また、現在篠井地区に伝わっている草刈唄は、金掘唄が変化してできたものです。

田楽舞

田楽舞は豊年祈願の行事として行われるもので、中世から伝わっています。二荒山神社のものは市内関堀町の六軒の農家で伝承されてきました。現在では栃木県内に残る唯一の田楽となっています。

彫刻屋台

本市の屋台は、いずれも家型で車輪が4つ付いており、全体が彫刻に覆われている豪華なものです。江戸時代の終わり頃から明治時代にかけて作られました。八坂神社・智賀都神社ともに、夜に6台の屋台の繰り込みが行われます。なお、八坂神社の天王祭では、猿田彦が先導をつとめます。

鳶木遣り

宇都宮の木遣り節は、江戸時代初期日光造営の時に全国から集められた職人が、避寒地として宇都宮に来て始めたと言われていています。それが後に宇都宮独自の形となりました。木遣り節を歌いながらの勇壮な纏振りと梯子乗りの妙技があります。

うつのみやの民俗芸能地図



(右那田八坂神社天王祭猿田彦)

宇都宮市教育委員会文化課
〒320-8540 宇都宮市旭1丁目1番5号
TEL.028(632)2764 FAX.028(632)2765



うつのみやの民俗芸能

市指定
民俗芸能

うつのみや
宇都宮
鷹木遣り
昭和36年10月4日
指定



上演日 消防出初式, 節分,
宮まつり等
場所 二荒山神社前他

八坂神社
の神楽
昭和43年3月22日
指定



上演日 2月最終日曜日, 11月23日
場所 八坂神社(今泉4丁目)

宗円
獅子舞
昭和32年1月12日
指定



上演日 8月16日, 8月最終日曜日
場所 日枝神社(新里町)

堀米の
田楽舞
昭和53年9月29日
指定



上演日 1月15日, 5月15日, 12月15日
場所 二荒山神社
(馬場通り1丁目)

石那田
八坂神社
天王祭付祭屋台
昭和49年3月1日
指定



上演日 7月24日(不定期年)
場所 八坂神社(石那田町)

関堀の
獅子舞
昭和45年1月19日
指定



上演日 8月15日, 16日
場所 観音堂(関堀町)

瓦谷の
神楽
昭和44年2月13日
指定



上演日 3日を除く1月の第1日曜日
場所 平野神社(瓦谷町)

徳次郎
智賀都神社
祭礼付祭屋台
平成元年12月20日
指定



上演日 7月最終土曜日(3年毎)
場所 智賀都神社(徳次郎町)

上横倉の
獅子舞
平成3年2月22日
指定



上演日 8月15日
場所 多藤神社(上横倉町)
上横倉町公民館

二荒山神社
の神楽
昭和44年2月13日
指定



上演日 1月28日, 5月28日, 9月28日
場所 二荒山神社
(馬場通り1丁目)

篠井の
金掘唄
昭和38年3月5日
指定



上演日 宮まつり, 篠井秋祭り等
場所 二荒山神社前,
篠井地区市民センター等

飯山の
獅子舞
昭和46年11月24日
指定



上演日 8月15日
場所 安蘇神社(飯山町)